ICT CONVERSATION

奈良県は世界遺産をはじめ数多くの史跡や名所を有する国内有数の観光地です。
しかし、コロナ禍によって社会は大きく変化し、観光業界においても新たな観光コンテンツの不足や観光ニーズの多様化をはじめとする課題が急速に深刻化し、新たな局面を迎えています。
NTT西日本では、これら地域社会の課題をICTの活用により解決する「スマート10x」を展開しています。
今回、奈良県の観光力を向上させ、観光客の満足度向上や地域の活性化をめざす奈良交通株式会社の森島和洋社長とNTT西日本の浅井達之奈良支店長が、コロナ後を見すえた古都奈良の観光のこれからについて語り合いました。

西日本電信電話株式会社
奈良支店長
浅井 達之

1976年生まれ。大阪府出身。1998年に大阪電気通信大学工学部卒業後、日本電信電話（株）入社。2011年西日本電信電話（株）福井支店総務部担当課長、2013年（株）NTT西日本-九州、2021年（株）エヌ・ティ・ティネオメイト設備本部担当部長、（株）NTTフィールドテクノを経て、2022年7月より現職。

スマートツーリズム＆モビリティ

奈良交通株式会社
代表取締役社長
森島 和洋様

1955年生まれ。1977年関西学院大学法学部卒業後、近畿日本鉄道（株）入社。2004年近鉄不動産（株）取締役、2010年近畿日本鉄道（株）執行役員、2012年取締役常務執行役員、2015年近鉄グループホールディングス（株）および近畿日本鉄道（株）取締役専務執行役員を経て、2020年より現職。

ICTで、古都奈良の新しい観光サービスが走り出す。

地域が抱える課題の解決 Smart 10x
https://www.ntt-west.co.jp/business/smart10x/

NTT西日本グループでは、ICTにより地域社会・産業の課題解決に役立てる「スマート10x」の取り組みを展開しています。これは、私たちが注力する「10分野」において、各地域が抱える課題に寄り添い、私たちが持つ「ICT」「人材」「ノウハウ」の活用で地域を活性化することで、スマートな未来社会の共創をめざすというものです。

コロナ禍をこえてVRを活用した魅力ある観光コンテンツ創出へ

浅井 NTT西日本は、地域に寄り添いICTを活用してさまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。奈良においても、幅広い分野で産業や地域の暮らしを応援していますが、今年1月からは、新たに奈良交通様と魅力的な観光コンテンツの創造を始めました。

森島 私どもでいえば、コロナによってバス事業は大きな影響を受けました。しかしそれは、新たな時代に即した形であらためてお客さまに奈良の魅力を伝え、これまで以上に満喫していただくサービスを考えるきっかけにもなりました。その中で、NTT西日本グループ様から定期観光バスにおけるVRを活用した観光コンテンツの提案があったわけです。

浅井 私たちは、あらゆる業界でICTによる課題解決を進めています。観光業においてはこれまで、観光客のためにWi-Fi環境の整備などを行ってきましたが、今回、魅力的な観光コンテンツの創造を課題とされている奈良交通様のご要望にお応えするため、これまでにない方法をと考え、VRを用いた高付加価値型観光コンテンツのご提案にいたりました。具体的には、定期観光バスで巡る観光地について、あらかじめドローンや360度定点カメラで撮影しておいたVR映像を用意し、バス車内でさまざまな高さや角度からのVR映像をご視聴いただくというものです。

森島 このVRコンテンツによって、新たな発見や驚き、そして感動をご提供するサービスが完成しました。定期観光バスにご乗車のお客さまからは、大変ご好評をいただいております。新たな視点で奈良の魅力をお伝えし、体験価値を向上することでもう一度奈良を訪れてみようと思っていただけるのではないかと期待しております。

お客さま満足度を高めリピーター化と滞在型観光地をめざす

森島 また、コロナにより、観光ニーズの多様化も一層進んでいますので、受け入れる側も、常に新しく魅力ある観光コンテンツを創造したり、さまざまな情報を幅広くリアルタイムに発信するといった、これまでとは違う取り組みも必要だと感じています。御社ではVRの他にも、観光地でのICTを活用した課題解決に向けた取り組みなどはありますか。

浅井 NTT西日本が、通過型観光地からの脱却を目的として取り組んでいる事例で、嚴島神社のある広島県廿日市市宮島エリアで展開している「観光体験プロデュース実証事業」があります。貸し出した端末に観光客が旅の目的を入力すると複数のおすすめコースを提示したり、位置情報（GPS）と連動した音声ガイドが流れ、地域のニッチなコンテンツやストーリーを伝えるサービスを提供しリピーター化を進めています（紙面左下参照）。そのコンテンツづくりのために自治体や観光業者、観光ガイド、住民など、いろいろな関係者から情報を収集しました。もし奈良でこうした取り組みを実施するなら、御社の経験やノウハウ、さらに奈良の観光を熟知したバスガイドさんが持つ情報や知識なども反映できれば面白いですね。

貴重な財産でもあるバスガイドの知識をICTに活用

森島 素晴らしい取り組みですね。そのニーズに応えられるバスガイドは弊社の貴重な財産です。バスガイドの豊富な経験や知恵を起爆剤として新しい観光を創造することで、奈良の観光振興に貢献できるのではないかと思います。

浅井 奈良のように観光資源に恵まれた地域こそ、旅をより楽しませてくれるバスガイドさんの存在は重要です。先ほどご紹介させていただいた宮島のような手法で、例えばバスガイドさんの知識をアーカイブ化してアプリにしたり、またシンプルに観光バス車内と車外のバスガイドさんを通信でつなぐなど、御社が有しておられる「バスガイド」という財産をもとに、ICTを活用すれば、奈良観光にとって最適な解決法が創出できるかもしれません。それを一緒に考えていければと思います。

ICTを活用して観光力を高め新たなまちづくりを

浅井 宮島での取り組みは、持続可能な観光地づくりをめざしたものですが、弊社ではそれ以上に住民の皆さまやそこに訪れる人々の声を観光だけではなく、ICTによってまちづくりそのものに活用する取り組みを各所で展開しています。大阪では、京橋エリアでの実証実験を通じて「AIを活用したまちづくり」を検討しています。これは、当社が独自に開発した人流や交通、建物等のデータを分析・可視化・予測するプラットフォーム「みんなのまちAI」に、実証に参加していただいた方々が投稿したまちの情報を掛け合わせ、魅力的な地域づくりを進めていこうというものです（紙面右下参照）。

森島 NTT西日本グループ様のそのような取り組みは、新しい観光の創造だけでなく、魅力的な地域づくりにも繋がりますね。奈良でもこうしたICTを活用したプロジェクトが実現することを、観光事業に携わる交通事業者として大いに期待しています。

浅井 私たちも御社をはじめ、さまざまな組織と協力しあって、今後の奈良の活性化と新たなまちづくりに貢献していきたいと思います。今後ともどうぞ、よろしくお願いします。

NTT西日本が手掛けたICT導入事例

広島県　デジタル技術を活用し新しい観光体験を創出「スマートツーリズム&モビリティ」

人気の観光地、宮島エリアには、長年の課題の一つに「通過型観光地からの脱却」があります。私たちは、この課題を解決するための取り組みを2021年から廿日市市様をはじめ地元の皆さまとともに開始しています。そして今、新たに進めているのが「観光体験プロデュース事業」です。貸し出した端末に観光客が旅の目的を入力すると複数のおすすめコースを提示したり、位置情報（GPS）と連動した音声ガイドが流れ、地域のニッチなコンテンツやストーリーを伝えるサービスです。運用後は、そこで得たさまざまなデータを分析して観光の活性化・効率化および持続可能な観光まちづくりにも活用していきます。

大阪府　京阪HD、NTT、NTTデータとともに大阪・京橋で『AIを活用したまちづくり』を検討

大阪の京橋エリアにおいて「AIを活用したまちづくり」という実証実験を行いました※。この取り組みは、スマートシティの実現に必要な情報をまち（構造物）のセンサーからではなく、スマートフォンのアプリなどを通じて市民のリアルデータを取得し、NTT西日本が開発中のまちの分析・可視化・未来予測プラットフォーム「みんなのまちAI」で分析してデジタル上に再現。今までわからなかった人流や行動予測などが可視化され、より精緻な予測・シミュレーションが可能となり、まちの活性化につなげようというものです。同時に、まちのデジタル化コストの削減と市民参加型のまちづくり実現もめざしています。　※2023年1月23日（月）～3月20日（月）まで実施

地域の取り組みはこちらから
https://www.ntt-west.co.jp/brand/ict/

NTT西日本
あしたへ－with you, with ICT.

お問い合わせ
NTT西日本 奈良支店
TEL.0742-24-4464 受付時間 平日9:30～17:00
［土曜・日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く］
※電話番号をお確かめの上、お間違いのないようにお願いいたします。

広告
審査24-130